

上新庄駅(阪急京都線)

瑞光寺の雪鯨橋から松山神社へ

瑞光四丁目駅(地下鉄今里筋線) 相川駅(阪急京都線)

「大阪あそ歩マップ集」
その3 No.104



阪急上新庄駅

① 瑞光寺

寛永20年(1643)に臨済宗の天然が、中世の巨大寺院・三宝寺の白砂の地に松を植え、庵を結んで観世音を祀ったことがはじまりで、白隠禅師を座主に招いて指月寺と称しました。二世・北禅和尚が三番村(現・東淀川区豊里)にあった三宝寺の瑞光院を移し、享保14年(1729)に指月寺を瑞光寺と改称しました。その際、開基者・天然の名に因んで山号を天然山としました。



② 雪鯨橋

宝暦6年(1756)、瑞光寺の潭住知忍禅師が、古式捕鯨発祥の地である南紀・太地浦に立ち寄った際、鯨の不漁に悩んでいた漁民から豊漁祈願の依頼を受けました。殺生を好まなかった潭住知忍禅師は困り果てた揚句、最終的に漁民の依頼を聞き入れて豊漁祈願したところ、たくさんの鯨を捕獲することができました。漁師たちはお礼の意味で瑞光寺に黄金30両と鯨骨18本を送りました。禅師はこれらの鯨骨で橋を造り、鯨の冥福を祈りました。橋は鯨の骨の白さから雪鯨橋と名づけられました。江戸時代に「難波一州の名奇(めづらしきもの)」と評された雪鯨橋は古くは橋板にも鯨の骨を使っていたようですが、安永9年(1780)

に橋板が石造となりました。戦災で焼失した雪鯨橋は、昭和49年(1974)に第5代目が架けられ、平成18年(2006)に第6代目に架け替えられました。平成21年度(2009)大阪市指定文化財(指定民俗文化財)に選ばれています。

③ 専念寺

天満の専念寺三世・諦譽雲溪が小松村に隠遁し、修法の霊場としたことがはじまりで、寛永20年(1643)の創建です。寺には、このあたりにあった巨大寺院・三宝寺大日院の本尊であると伝えられる木造大日如来坐像、これまた三宝寺の旧仏といわれる木造十一面観音菩薩立像、恵心僧都の作といわれる専念寺の本尊・木造阿弥陀如来坐像が残さ



れ、いずれも大阪市指定文化財に登録されています。

④ 瑞松寺

天正9年(1581)、明道によって創建されました。明道は楠木正成の末裔・正澄で、本願寺で顕如の弟子となり明道と改名しました。瑞松寺の山号・涙池山は、景清の涙池伝承に由来しています。昭和の初めごろまで、腫れ物一切に効く、瑞松寺一子相伝・狸の吸い出し薬を販売していたそうです。

⑤ 松山神社

菅原道真を祭神とし、道真の死後、村民が祠を建てて村の氏神と崇めたことが神社のはじまりで、明治4年(1871)に松山神社と改称するまでは小松天満宮と称していました。道真が淀川を下って大宰府へ左遷される際、この付近にあった数千株の小松が生い茂る景観に感動して詠んだ漢詩の中から、「小松」が採られました。

地下鉄瑞光四丁目駅

